

2019.9

さやかグループ広報誌

No. 85

SAYAKA



さやか**こども**支援センター**新設**について

社会福祉法人清心会 理事長
村山 勇治



村山理事長とさやかサポートセンターの職員

さやかサポートセンター「フレンドリー」が中心となって、昨年度より新設計画を立て、国庫補助申請を含む諸手続きを進めてきた、「多機能型児童通所施設、（さやかこども支援センター）」は、このほど国庫補助および埼玉県単補助の内定通知をいただき、これにより具体的な準備作業が進み、間もなく着工の運びとなります。

秩父市栃谷桑原沢の約800平米の地に、延床面積310平米の建物を建設、予算規模は総工費1億8千万円を予定しています。

当法人では、平成10年より、障害児等療育支援事業を「フレンドリー」として受託、さらに、平成27年から放課後等ディサービス「さやかキッズクラブ」を展開してきましたが、これらの取り組みを通して、乳幼児期から小中高に就学中の障害のある子どもたちの支援を切れ目なく行い、その家庭を支えて行くことの必要性を痛感してきました。

こうした状況の中で、清心会は20年の実績と経験を踏まえ、ニーズの高い放課後等ディサービス「さやかキッズクラブ」と、児童発達支援通所事業をひとつの事業所に統合し、定員30名規模の多機能型の施設の建設に踏み切ったものであります。

計画初期の段階から、建設用地、排水路、駐車スペースの確保等に、地権者の皆様から格別の理解をいただき快諾下さったこと、また、栃谷町会、地区の皆様にも好意をもって計画に同意して下さい、準備作業が順調に進む上で大きな要因となっており、改めて感謝申し上げたいと思います。

なお、工事の竣工は来年令和2年3月、同年4月開設を予定いたしております。



左：岡部施設長

右：広報誌No.83表紙掲載作品を描いて頂いた関口エイ子画伯

今こそ自分たちの**想**いや**福祉観**を大いに語ろう！

社会福祉法人清心会 総合施設長
岡部 浩之

昨年に引き続き、本年も厚生労働省主催の「共生社会フォーラム」のお手伝いをさせていただいています。

このフォーラムは3年前に起きたあの痛ましい「津久井やまゆり園事件」を受け、もう一度一人ひとりのいのちの重さや生きる意味、共生社会について考え、語り合おうという研修です。私たちが日々当たり前のように持つ感情をさらに掘り下げてその源泉を探る、また答えのない問いに対して向き合うといった非常に奥深いもので、昨年度も関わらせてもらいましたが「共生社会とは？」の問いに対し、正直私は答えが出せませんでした。本年引き続き学び続ける機会を得て、おぼろげながら光が見えてくるものと信じています。

そして、この研修の中で最も重要視していることが、ここで学んだことを自分なりに理解し言語化し、職場等で同僚や部下に対し伝えていくということです。自分たちの福祉観を振り返り、それを身近なところから周囲に伝えていく者たちのことを、私たちは「福祉支援語り部」と呼んでいます。この「福祉支援語り部」を一人でも多く養成していくことがこの研修にかかわる私たちの使命と考えております。

昨今、私たちの業界のみならず、往々にして「熱く語る」「想いを伝える」という機会が少なくなってきたように思えます。現代のコミュニケーションの主流となっているSNS等の影響なのか、「生の言葉」が重要視されていないような気がするのです。

私は 職場内で言い続けていることがあります。それは他者に対して物事を伝える時、常に熱感や質感を大切に語りかけようということです。立場上、人前でお話をさせていただく機会も増えてきました。その際に原稿をただ読み上げただけの内容では、相手の心に届くことはないということを痛感しました。だからこそ時間は短くとも、不器用な表現だとしても自分の想いを自分の言葉で伝えていくことを心掛けるようにしています。

一つ一つの言葉に意味を感じ、そこに自らの経験や思いを重ねながら語り合う機会を増やしていく。今の私たちにとても大切なことだと思っています。

—共生社会への道を探る—

「奥田知志氏の基調講演と瑞宝太鼓公演」

【第一部】

協会の牧師のかたわら長年ホームレス支援を通して、「強くあることを目指す社会から弱さを前提とした社会へ」を提唱されている奥田知志さんに、共生社会への道について講演をいただきます。

【第二部】

秩父で6回目の公演となる瑞宝太鼓。数々の海外公演を経験した圧倒的な和太鼓のパフォーマンスをお楽しみください。

皆様のご来場、心よりお待ち申し上げます。

とき 10月25日(金) 17:30~20:20

ところ 秩父宮記念市民会館大ホール

参加費 一般1,000円(全席自由)

※障がい者手帳をお持ちの方とその介助者・高校生以下 無料



横瀬×ぽっぽ

ぽっぽ出店 イベント情報

- 10月 6日(日) 出会いの広場
- 10月18日(金) 人権フェスティバル
- 10月25日(金) 第30回記念
清心会福祉セミナー
- 10月27日(日) ふれあいコンサート
- 11月 9日(土) 原谷公民館まつり

今回は、ぽっぽの『ぶこう茶んラスク』をご紹介します。ぶこう茶んラスクは、江戸時代からお茶の産地だった横瀬町の茶葉を使った地元産の『横瀬の紅茶』と、横瀬町に本店を構えるパン工房ぽっぽ製ラスクのコラボ商品です。製法はあえて秘密といたしますが、横瀬の紅茶をふんだんに使った浸け液を、ぽっぽの利用者の皆さんが手作業で丁寧にパンに染み込ませてから乾燥させています。ラスクの見え目も、横瀬の空を見上げるといつもそこにそびえ立ち町衆を見守ってくれている霊峰武甲山を模したデザインとなっています。お買い求めはぽっぽ各店、アグリマルシェにて。



ぶこう茶んラスク

1箱16個入り ¥380-

今回表紙を飾った

アーティスト 山崎恵一 画伯

「手をたたこう」の歌に合わせ喜怒哀楽を顔で表現する活動を取り入れた事をきっかけに紙に書かれた〇の中に表情を描くようになり生まれた作品が【フェイス】です。

テーブルに沢山のペンを並べ、満足そうに微笑んだり「出来ました」と呟いたり様々な顔を見せてくれる恵一さん。

30色以上のペンを使い分け独特の配色で仕上げる作品は同じものがなくどれも1点もの。皆さんも好みの顔を見つけてみませんか？ 木村 理恵



趣味を楽しむ

さやかグループ最高齢の安永俊幸さん。そんな安永さんの趣味はなんと言っても外出をする事。以前はハワイに行ってホノルルマラソンにも参加しました。趣味を楽しんでもらおうと、7月に安永さんと江野紗百合さん、そして職員2名で1泊2日の軽井沢旅行に行ってきました。

美味しい物や観光地を満喫し、楽しい旅行となりました。写真はホテルでのリッチなディナーのひとつです。普段とはまるで違う雰囲気緊張気味の面々です...

小泉 薫



幸恵さんの「とりあえず喰ってみ！」

「よろずやのみそポテト」の巻

秩父の郷土料理？でもある
みそポテト
ゆでたジャガイモに
小麦粉の衣をつけて揚げるやつ
付ける味噌は
その家庭や店で独自の味がある
珍しくない食べものだが
皆野町にある「よろずや」の
みそポテトは
なんと フライなのだ
パン粉を付けて揚げてあり
甘めのみそがたっぷり付いている
それがたまたま美味しく
こってり感があり
おやつにも おかずにも いる
揚げたてが手に入ったら 最高
一度 お試しあれ

作り方

お湯は沸かしておく。

- ①ナスは、半分に切り、斜めに編み目状に切り込みを入れれば見栄えも良いです。アサツキは細かく切る。
- ②大葉は千切りにし、大根はおろしにする。一緒に合わせる。
- ③豚バラは食べやすい大きさに切る。
- ④ナスを揚げる。揚げたらツユにつけておけば、味もしみ込むのでオススメ。
- ⑤沸かしてあるお湯で肉を茹で、氷水でさらす。
- ⑥麺を茹でる。これも氷水でさらします。
- ⑦皿に、麺、ナス、肉、大根おろし、アサツキを盛りつけ、最後にツユをかけたら完成。

まだまだ残暑の残る季節です。揚げた秋ナスの甘みとピリ辛の大根おろしがとてもマッチし、肉も茹でであるので食べやすい1品です。



揚げナスと豚しゃぶの冷やし中華

今回初めて担当しましたフーズ狩野真那弥のおすすめレシピです。ツユの作り方も記載させて頂きましたが、少し薄めなのでご了承ください(;'w;')

材料 (2人分)	ツユ (2人分)
ナス 2本	水 大さじ2
豚バラうす切 150g	鶏がらスープの素 少々
大根おろし お好み	醤油 大さじ2
大葉 4枚	酢 大さじ2
アサツキ 適量	砂糖 大さじ1
麵 2コ	

職員紹介 Q&A

- ①趣味・特技等あれば教えて！
- ②座右の銘があれば教えて！
- ③今一番はまっていることがあれば教えて！
- ④子供時代・学生時代のあだ名
ニックネームは？
- ⑤どんな子供でしたか？
- ⑥自分の性格は、どんな性格？
- ⑦最後に一言！

フレンドリー

伊古田 知彦

- ①趣味で始めたバドミントン負けるのが悔しいので、コソソリ練習中
- ②何かを学ぶためには、自分で体験すること以上にいい方法はない。(アインシュタイン)
- ③燻製作りにはまっています！上手に出来た時は食べ過ぎ、飲み過ぎに注意しています！
- ④ゴリラって呼ばれてましたが、現在はゴリラさんになりました笑
- ⑤色々な物に興味を持ち、とりあえず試してみる事が多く、よく怒られていたようです。
- ⑥見た目よりも負けず嫌いな性格です。
- ⑦OO出来るゴリラを目指して30年！相談員が出来るゴリラを目指して頑張ります！



たかしの事業所

石川 裕一

- ①A:音楽鑑賞です。よく聴くのはゴリゴリのヘヴィメタル、ハードロックです。あとは映画を観たりテレビゲームをしています。
- ②意外と人生何とかなる。
- ③競馬です。馬が本気で走っている姿はとても美しいです。たまにお金が増えます。気が付くと減っています。
- ④裕一から転じてユッチーです。
- ⑤何にでも興味を持ち、「何で？ どうして？」って聞きまわると子供だったそうです。
- ⑥のんきだと思います。
- ⑦健康が一番！



わくわくクラブ

倉林 大樹

- ①スポーツはある程度なんでも出来ます。ファッションには強い拘りがあります
- ②誰かに決められたイメージなんてどうでもいい。勝手に決めてくれてありがとう。そのイメージひっくり返してあげるよ。(Ocean 高木琢也)
- ③フリースタイルダンジョン
- ④名前や名字で呼ばれることが多い。
- ⑤蜂の巣、マムシ退治することが大好きだった。
- ⑥まっすぐ。負けず嫌い。
- ⑦攻めの姿勢を大事に。守ってばかりじゃつまらない。



＝編集後記＝

照りつく様な夏の暑さが過ぎ、過ごしやすい時期に移り変わろうとしています。夏は皆さん満喫されたかと思いますが、これからは食欲の秋、スポーツの秋とまだまだ楽しい季節が続きます。今回も多くの方のご協力を頂き、盛り沢山の楽しい広報が出来上がったと思います。今後も思考を凝らしながら、色々な内容を発信したいと思うので、よろしくお願ひします。田端義郎

※令和元年度 事業報告・決算報告につきましては、ホームページの情報公開をご覧ください。

社会福祉法人 清心会  さやかグループ <http://www.sayaka.or.jp>

